

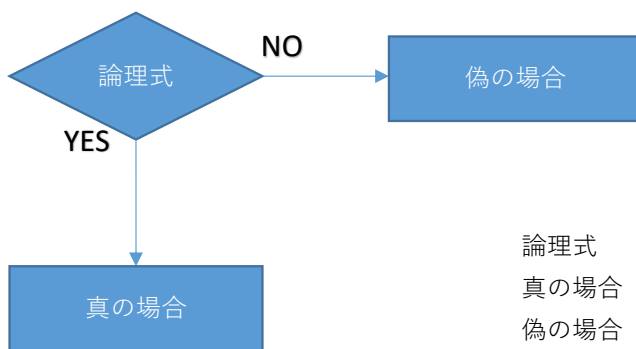
2 源泉徴収の方法

源泉徴収すべき所得税額及び復興特別所得税の額は支払金額（源泉徴収の対象となる金額）により次のようになります。

| 支払金額 (=A) | 税額 |
|-----------|---|
| 100万円以下 | $A \times 10.21\%$ |
| 100万円超 | $(A - 100\text{万円}) \times 20.42\% + 102,100\text{円}$ |

(例) 150万円の弁護士報酬を支払う場合
 $(150\text{万円} - 100\text{万円}) \times 20.42\% + 102,100\text{円} = 204,200\text{円}$

【考え方】



論理式 → Aが100万円以下
真の場合 → $A \times 10.21\%$
偽の場合 → $(A - 100\text{万円}) \times 20.42\% + 102,100$

【関数】

IF関数に当てはめると、下記ようになります。
(セルB5にAの金額が入力されているとします。)

$=\text{IF}(B5 \leq 1000000, B5 * 10.21\%, (B5 - 1000000) * 20.42\% + 102100)$

